

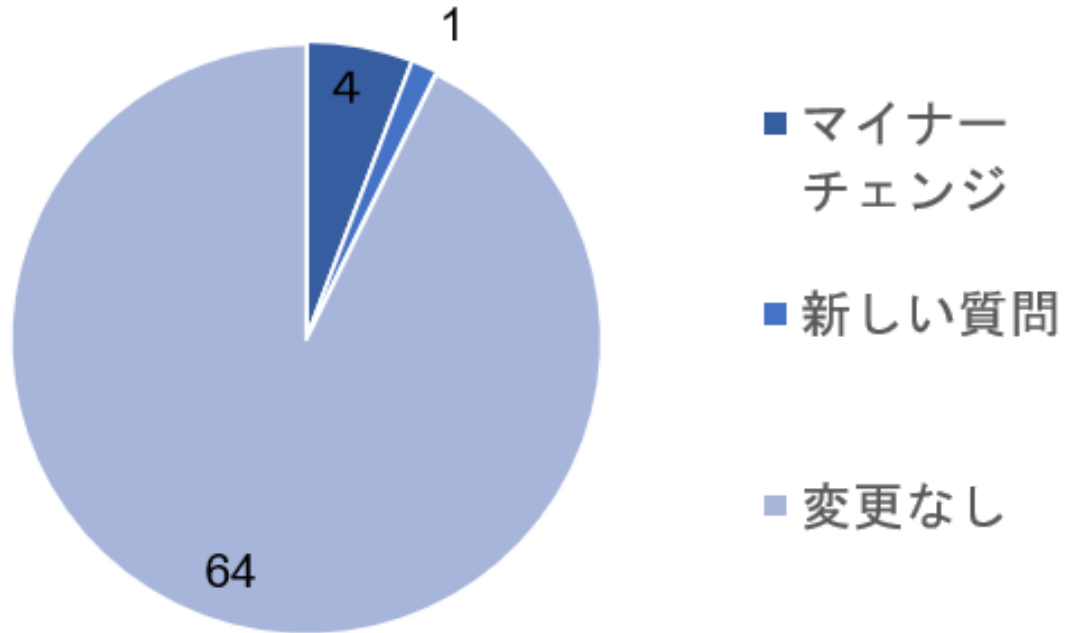
# 2021年 水セキュリティ 2020年からの変更点

2021年5月

**CDP Worldwide-Japan**

# 水セキュリティ-2021年の変化の範囲

2021年水セキュリティ質問書



質問書の98%が変化なし、または  
軽微な変化あり

一つの新しい質問

新しいセクター特有の質問はありません

削除された質問はありません

2021年の全問題数：69問

(セクター別の質問とサプライチェーンモジュールを除く)

## 2021年ウォーターセキュリティ 카테고리

카테고리	
コンテクスト	*
水の会計	
バリューチェーン・エンゲージメント	
ビジネスへの影響	
水リスク評価	*
水関連のリスクの暴露と対応	
水関連機会	
水政策	
ガバナンス	
事業戦略	
課題への統合的アプローチ	
定性的・定量的目標	
検証	

2021年のリーダーシップレベルのみを対象とした新たな重み付け 카테고리

W1.2jは、2021年に「水会計」カテゴリにマッピングされた新しい質問です。

\* 2021年に向けた重み付けの変更



# 2021年 カテゴリー別ウエイト - 一般

マネジメント（変更なし）と  
リーダーシップ（下記参照）

重み付けの変更は、リーダーシ  
ップレベルにのみ適用されます



カテゴリー	2020年の重み付け	2021年の重み付け	変化？
コンテキスト	0%	<b>2%</b>	<b>*増加</b>
水の会計	12%	12%	変化なし
バリューチェーン・エンゲージメント	9%	9%	変化なし
ビジネスへの影響	3%	3%	変化なし
水リスク評価	15%	<b>13%</b>	<b>*減少</b>
水関連のリスクの暴露と対応	10%	10%	変化なし
水関連機会	4%	4%	変化なし
水政策	9%	9%	変化なし
ガバナンス	15%	15%	変化なし
事業戦略	7%	7%	変化なし
課題への統合的アプローチ	3%	3%	変化なし
定性的・定量的目標	13%	13%	変化なし

# 2021年 カテゴリー別ウエイト - セクター

## マネジメントとリーダーシップ

重み付けの変更は、リーダーシップレベルにのみ適用されます



	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
水のカテゴリー/セクター	CH		EU		FBT		M&M		O&G	
コンテキスト	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%
水の会計	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
バリューチェーン・エンゲージメント	9%	9%	5%	5%	12%	12%	6%	6%	6%	6%
ビジネスへの影響	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
水リスク評価	13%	11%	15%	13%	13%	11%	15%	13%	15%	13%
水関連のリスクの暴露と対応	10%	10%	12%	12%	9%	9%	10%	10%	10%	10%
水に関する機会	4%	4%	5%	5%	4%	4%	5%	5%	5%	5%
水政策	9%	9%	9%	9%	8%	8%	9%	9%	9%	9%
ガバナンス	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
事業戦略	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
包囲された課題への統合的アプローチ	7%	7%	6%	6%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
定性的・定量的目標	13%	13%	13%	13%	12%	12%	13%	13%	13%	13%

# スコアリングアプローチの変更

ベストプラクティスへのインセンティブを与えるための**認識レベル**でのポイント配分の変更

ガバナンスに関する質問（W6.2b, W6.3）における**プログラム横断的な整合性**

**基準**をより明確にするための**表現変更**（採点への影響なし）

重要な除外項目について（W0.6, W0.6a）**Aリストの資格基準**が明確化。

# 質問レベルの変更 変更点の概要



新しい基準	コンテキスト	W0.6/W0.6a	情報開示、認識、リーダーシップ
	水の会計	W1.2j	情報開示、認識
主な基準の変更	バリューチェーン・エンゲージメント	W1.4	認識
	環境問題への統合的アプローチ	W-MM3.2a	認識
	水政策	W6.1	認識
	ガバナンス	W6.4, W6.6	認識
	環境問題への統合的アプローチ	W7.3	認識 & マネジメント
	事業戦略	W7.4	認識
クロステーマ・アライメント	水関連のリスクエクスポージャーと対応	W4.2, W4.2a	認識
	ガバナンス	W6.2b	マネジメント
	ガバナンス	W6.3	リーダーシップ
軽微な変更と明確化	バリューチェーン・エンゲージメント	W1.4a	マネジメント
	環境問題への統合的アプローチ	W-CH/EU/FB/OG3.1	マネジメント
	環境問題への統合的アプローチ	W-MM3.2c	マネジメント
	水のリスク評価	W3.3a	マネジメント
	水のリスク評価	W3.3b	マネジメント & リーダーシップ
	水に関する機会	W4.3a	マネジメント
	事業戦略	W7.1	マネジメント
	定性的・定量的目標	W8.1a, W8.1b	マネジメント
	事業戦略	W7.2	リーダーシップ

質問書回答への影響は最小限またはゼロ

# 要点

- 1) 排水処理に関する一つの新規質問 (W1.2j)
- 2) サプライヤーエンゲージメント (W1.4b)、水リスク (W2.1a、W4.2)、目標 (W8.1a) に新規ドロップダウンを含むなど、4つのマイナーチェンジ。
- 3) 鉱滓ダム (金属・鉱業セクター-W-MM3.2a) に関する1件の質問を修正
- 4) 2つの設問でのガイダンス追加 (W1.2d、W7.3)
- 5) 複数の設問にある「説明してください (please explain)」ボックスの文字数制限の増加、水ストレス地域からの取水 (W1.2d) と水集約度の計算 (W-FB1.3、W-FB1.3a) の両方のガイダンスの多少の明確化





# 2021年Aリストの基準

## Aリストの基準

### Aリストの必須条件の再確認



- リーダーシップポイントの最低基準点（閾値）を達成する
- 重要な除外項目がないこと（質問W0.6/W0.6a）
- 投資家の要望に対する公開回答の提出

さらに、追加のチェック（レピュテーションチェック）

# Aリストの基準 2021年

Aリストの基準に変更はありませんが、2021年に向けて明確化されました。



このAリストの必須基準は、質問W0.6/W0.6aの回答と関連しています。

- 重要な関連性のある除外がない(質問W0.6/W0.6a):

- 除外の背景において(質問W0.6a)、企業は少なくとも、水量および/または水質の影響に関して(すなわち、汚染負荷に関して)、報告した各除外内容の重大さの程度の定性的な指標を示す必要があります。例えば、報告年に取水した総数量と比較した時に、除外内容に関連した水利用量が代表的ではない、あるいは最低限であることを示すこと。
- 除外内容の重大さは、企業のセクターや関連事業活動; 除外内容が具体的な場所での操業を代表する場合(地理的場所(そして、高いレベルの水ストレスにさらされている場合などのその場所の流域の状況); そして全体に対して除外項目がどのくらいの環境影響を代表するかなどの要因に左右されます。記入した定性的な情報は、出来る限り多く、上記の点に対処する必要があります。
- 定性的な情報を含めることは重要性の決定を支援します。例えば、総算定数値のうちの水利用の割合、または除外項目に関連した水影響のその他の数値推定値。

説明で何らかの種類の水影響または定性的な情報の記入を怠った企業には、2021年水セキュリティAリストの獲得資格がなくなります。

上下水道・衛生(WASH)サービスで使用する水と採取した雨水は、重大な除外内容のほか、最近の企業分割や最近の合併買収とは見なされません。最近の合併買収による除外内容を報告する場合、買収が起こった年と、組織がその報告に水関連データを含めるつもりを含めます。

- 投資家の要請に対する公開の回答の提出。

さらに、企業は多くの確認事項を満たしている必要があり、その詳細はスコアリングの手引きの資料をご覧ください。

▼W0.6aへの対応は、Aリストの資格を得るための必須基準の一部である。

▼少なくとも、報告された各除外項目の有意性のレベルを定性的に示す必要があるが、定量的な指標を含めることがベストプラクティスである。

## 重要な除外項目

### W0.6

このバウンダリ（境界）内で、地域、施設、水の側面、またはその他の開示対象外のものはありますか。

#### Response options

Select one of the following options:

- Yes
- No

リーダーシップ0/0ポイント

W0.6aに対応

リーダーシップ。1/1ポイント

- ▼ これまでは2020年にスコアリングされなかった
- ▼ 2021年の情報開示およびリーダーシップレベルの新基準
  - ▼ 情報開示の完成度を評価・採点

#### 変更の根拠

- ▼ 重要な除外項目を持たない企業をより評価する
- ▼ Aリストの資格基準との関連で、この質問の重要性を強調する

Aリストの必須条件に直結する設問

# 重要な除外項目

## W0.6a

除外項目を報告してください。

### 質問の依存性

- W0.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

### 回答選択肢

以下の表に回答を記入してください。表の下にある「回答行を追加」ボタンを押すことで、回答行を追加できます。

除外対象	説明してください
文章入力欄[最大2,500文字]	文章入力欄[最大2,500文字]

- ▼ これまでは2020年にスコアリング対象外でしたが、新たに対象となります
- ▼ 2021年に向けた「情報開示」「認識」「リーダーシップ」の新基準

### 変更の根拠

- ▼ W0.6aにスコアリングを導入し、定義された報告対象範囲に含まれない活動や施設を取り巻く企業からのより良い報告を促進する。
- ▼ データの比較可能性/文脈の改善

Aリストの必須条件に直結する設問

# 重要な除外項目

## W0.6a

### リーダーシップ採点基準

リーダーシップポイントが付与されるには、情報開示ポイントと認識ポイントが満点付与されている必要があります。

A) [説明してください]欄で、報告した各除外に関して以下の内容を記入した場合、ポイントが比例的に付与されます:

- i) 総使用量(または消費量)あるいは排出される汚染負荷のかなりの部分を代表するのを含む、除外の根拠 - 1ポイント
- ii) 除外項目が占める水量の定量的な尺度 (例: 総取水量 (または消費量) に対する割合) (%) - 0.5ポイント

B) 最近の合併/買収によると報告した除外に関して: 買収が発生した年、且つ、報告にデータを含めることが見込まれる時期を企業が含める場合、リーダーシップポイントが満点付与されます。

上下水道・衛生(WASH)サービスで使用する水と採取した雨水は、重大な除外内容のほか、最近の企業分割とは見なされません。

▼ 除外項目の根拠と、除外項目の定量的な評価を求める新しいリーダーシップ基準

▼ 最近の合併・買収に伴う除外項目は、基準を満たせば認められます

例

Exclusion	Please explain
コロンビア	コロンビアにある2つの施設は、重要ではないと考えられるため、本年度の報告からは除外されています。この施設は、報告年度に全社で消費された水の総量の0.03%に相当します。

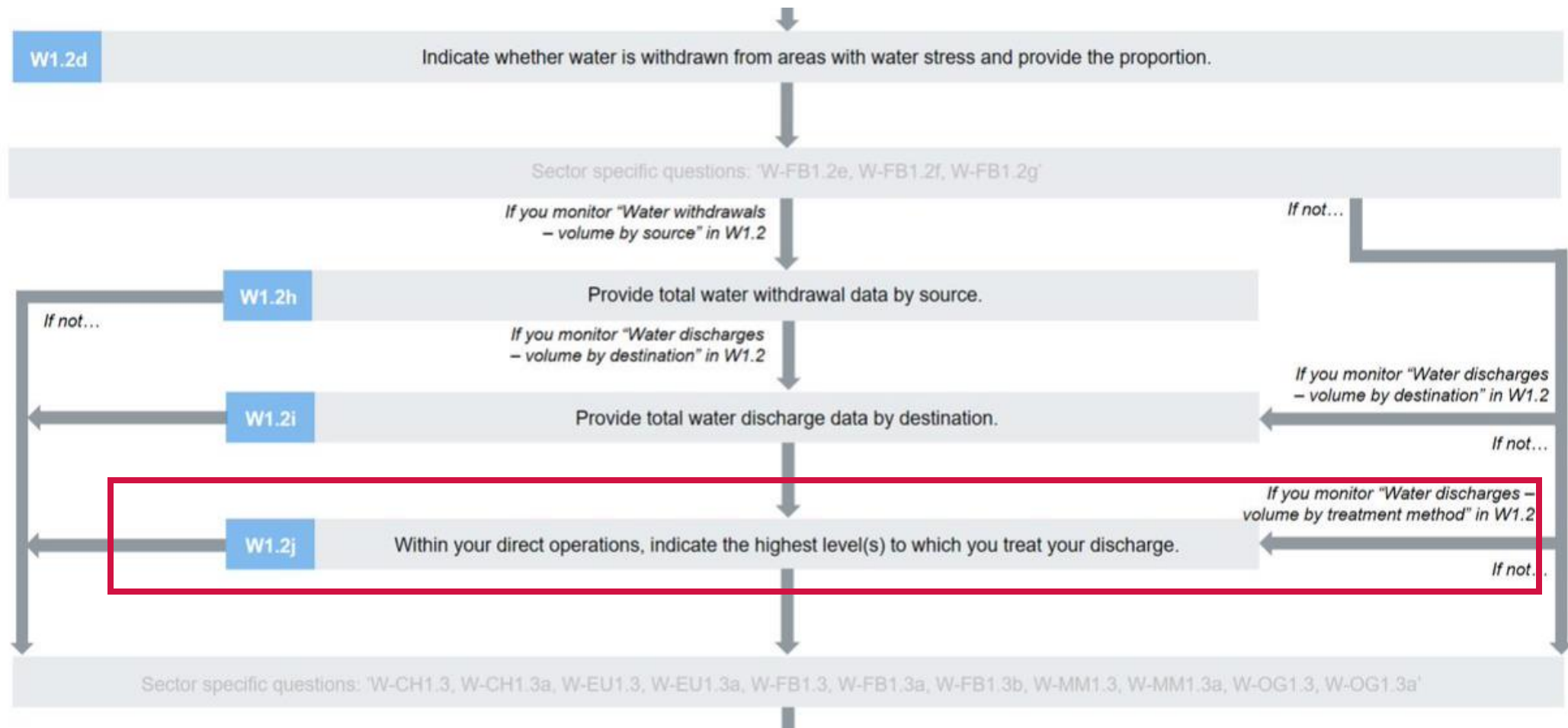
## 変更の種類—認識レベルにおけるポイントの再配分

- ▼ 近い将来に行動を起こす意思を示した場合、部分的に加点
- ▼ 変更の目的は以下の通りです。
  - ▼ ベストプラクティスを奨励する
  - ▼ 今、行動を起こしているリーダーに報いる

質問	満点の選択	部分点の選択	ゼロポイントの選択
(W1.4) 水関連の問題について、バリューチェーンと関わっていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい、私たちのサプライヤーです。</li> <li>はい、当社のお客様やその他のバリューチェーンパートナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、現在はありませんが、今後2年以内に行う予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、水に関するバリューチェーンとの関わりはありません。</li> </ul>
(W6.1) 貴社は、水に関する方針を持っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい、水に関するポリシーを文書化し、公開しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい、水に関するポリシーを文書化していますが、一般には公開していません。</li> <li>ありませんが、今後2年以内に開発する予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ</li> </ul>
(W6.4) 水関連の問題を管理するために、役員レベルの従業員や役員にインセンティブを与えていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、現在はありませんが、今後2年間で導入を予定しています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、今後2年間に導入する予定はありません。</li> </ul>
(W6.6) 貴社は、水関連のリスクへの対応に関する情報を、直近の主要な財務報告書に記載しましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ありませんが、今後2年間で実施する予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、その予定はありません。</li> </ul>
(W7.3) 貴社は、ビジネス戦略に気候関連のシナリオ分析を利用していますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ありませんが、今後2年間で実施する予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後2年間の予定はありません</li> </ul>
(W7.4) 貴社では、インターナルウォータープライシング（水に社内価格）をしていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、しかし現在、水の評価方法を検討しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、今後2年以内にそうすることは予想していません</li> </ul>

# W1 現在の状態

## 一つの新しい質問





# W1.2j - 排水処理のレベル別排水量



(W1.2j) 貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。

直接操業内での処理の最高レベル	排水する処理レベルの事業への関連性	量 (メガリットル/年)	前報告年との処理済み量の比較	この量が適用される操業地/施設/事業の割合(%)	説明してください
三次処理 (高度処理)	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● 関連する</li><li>● 関連するが量は不明</li><li>● 関連性がない</li></ul>	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● 大幅に少ない</li><li>● 少ない</li><li>● ほぼ同じ</li><li>● 多い</li><li>● 大幅に多い</li><li>● 初めての測定 (前報告年なし)</li></ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● モニタリングなし</li><li>● 1%未満</li><li>● 1-10</li><li>● 11-20</li><li>● 21-30</li><li>● 31-40</li><li>● 41-50</li><li>● 51-60</li><li>● 61-70</li><li>● 71-80</li><li>● 81-90</li><li>● 91-99</li><li>● 100%</li><li>● 不明</li></ul>	文章入力欄[最大2,000文字]
二次処理					
一次処理のみ					
未処理で自然環境に排水					
未処理で第三者に排水					
その他					

## 新しい質問

**根拠**

▲ 処理レベルの報告を行うことにより、企業が排水をモニタリングしており、どの活動が水質にどの程度影響を与えているかを理解できるようになります。

▲ 注意：この設問はミニマム版の質問書には出てきません。

この設問は、W1.2「放流先別の総放流量データを提供してください」の中で、「放流水-処理方法別の放流量」をモニタリングしていることを示している場合にのみ表示されます。



# W1.2j - 処理のレベル別排出量

## 回答例



### 新しい質問

#### 根拠

処理レベルの報告を行うことにより、企業が排水をモニタリングしており、どの活動が水質にどの程度影響を与えているかを理解できるようになります。

注意：この設問はミニマム版の質問書には出てきません。

(W1.2j) 貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。

直接操業内での処理の最高レベル	排水する処理レベルの事業への関連性	量(メガリットル/年)	前報告年との処理済み量の比較	この量が適用される操業地/施設/事業の割合(%)	説明してください
三次処理（高度処理）	選択肢: ● 関連する ● 関連するが量は不明 ● 関連性がない	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: ● 大幅に少ない ● 少ない ● ほぼ同じ ● 多い ● 大幅に多い ● 初めて	選択肢: ● モニタリングなし ● 1%未満 ● 1-10 ● 100% ● 不明	文章入力欄[最大2,000文字]
二次処理					
一次処理のみ					
未処理で自然環境に排水					
未処理で第三者に排水					
その他					

三次処理（高度処理）＝90メガリットル

二次処理＝0メガリットル

一次処理＝10メガリットル

第3列の「量（メガリットル/年）」の合計は、全社的な排水量の合計と一致しなければならない（W1.2b）。

例：100メガリットル

この設問は、W1.2「放流先別の総放流量データを提供してください」の中で、「放流水-処理方法別の放流量」をモニタリングしていることを示している場合にのみ表示されます。

# 排出物の処理に関する会計処理

## W1.2j

貴社直接業務の中で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。



新しい質問

2021年情報開示と認識のレ  
ベルでのみ採点

直接操業内での処理の最高レベル	排水する処理レベルの事業への関連性	量 (メガリットル/年)	前報告年との処理済み量の比較	この量が適用される操業地/施設/事業の割合 (%)	説明してください
三次処理 (高度処理)	選択肢: ● 関連する ● 関連するが量は不明 ● 関連性がない	数値記入欄[最大小数点2位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: ● 大幅に少ない ● 少ない ● ほぼ同じ ● 多い ● 大幅に多い ● 初めての測定 (前報告年なし)	選択肢: ● モニタリングなし ● 1%未満 ● 1-10 ● 11-20 ● 21-30 ● 31-40 ● 41-50 ● 51-60 ● 61-70 ● 71-80 ● 81-90 ● 91-99 ● 100% ● 不明	文章入力欄[最大2,000文字]
二次処理	<div>「関連性」の欄で、「関連性はあるが容量は不明」以外の選択肢が選択されている場合、各行の完成度に応じて1認識ポイントが付与されます。</div>				
一次処理のみ					
未処理で自然環境に排水					
未処理で第三者に排水					
その他					

情報開示基準

■ セルの完成度で採点

認識基準

■ [事業への関連性]欄で[関連するが量は不明]を除くいずれかの選択をしていただく必要があります。

# 関連用語

## Explanation of terms

- **Primary treatment:** Primary treatment involves the physical removal of suspended solids and floating material, typically by sedimentation. A preliminary treatment may often be applied involving the physical removal of large debris, large particles, oils, and grease, typically through screens and grit chambers.
- **Secondary treatment:** Secondary treatment involves the degradation of organic matter and reduction of solids through biological treatment. The removal of nutrients (nitrogen and/or phosphorus) can also be achieved at this level of treatment using a combination of chemical and biological treatments. Secondary treatment follows primary treatment.
- **Tertiary treatment:** Tertiary treatment involves the additional treatment needed to remove suspended, colloidal and dissolved constituents (nutrients, heavy metals, inorganic and other contaminants) remaining after secondary treatment through a number of processes including granular media filtration, biological nitrification-denitrification, biological phosphorus removal, chlorination, etc. Tertiary treatment follows secondary treatment.

## 用語の説明（仮訳）

### 一次処理

一次処理では、通常、沈降によって懸濁物質や浮遊物質を物理的に除去するものを指します。予備処理では、通常、スクリーンや沈砂地を用いて、大きなゴミ、大きな粒子、オイル、グリスを物理的に除去することが行われる。グリスを物理的に除去する予備処理が行われることが多い。一般的にはスクリーンや沈砂地を使用します。

### 二次処理

二次処理では、生物学的処理による有機物の分解と固形物の減少が行われる処理のことを指します。このレベルの処理では、化学的処理と生物学的処理を組み合わせ、栄養素（窒素および／またはリン）の除去を行うことができます。化学処理と生物処理を組み合わせで行います。二次処理は一次処理の後に行われます。

### 三次処理

三次処理では、二次処理後に残った懸濁成分、コロイド成分、溶存成分（栄養塩、重金属、無機物、その他の汚染物質）を除去するために必要な追加処理を行います。粒状媒体ろ過、生物学的硝化脱窒、生物学的リン除去、塩素消毒などのプロセスを経て、二次処理後に残る懸濁成分、コロイド成分、溶存成分（栄養塩類、重金属、その他の汚染物質）を除去するために必要な追加処理を行います。三次処理は二次処理の後に行われます。

# バリューチェーン・エンゲージメント

## W1.4

水関連の問題について、バリューチェーンと連携していますか？

### 回答選択肢

以下の選択肢から該当するものをすべて選択:

- はい、サプライヤーと
- はい、顧客、またはその他のバリューチェーン・パートナーと
- いいえ、現時点ではありませんが、今後2年以内に行う予定です
- いいえ、水関連でバリューチェーンと協働していません

1ポイント

0.5ポイント

認識レベルでのポイント分配の変更

- ▼ 企業がサプライヤーや顧客、その他のバリューチェーンパートナーと連携するための動機付け

# W1.4b - サプライヤーエンゲージメント

(W1.4b) その他の水関連サプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください。



エンゲージメントの種類	エンゲージメントの具体的内容	数値ごとのサプライヤーの割合	調達費全体における比率 (%)	エンゲージメントの対象範囲の根拠	エンゲージメントがもたらす影響と成果の評価方法	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● その他のサプライヤーエンゲージメントはない</li><li>● 新人研修とコンプライアンス</li><li>● 水管理の改善とスチュワードシップへの動機付け</li><li>● 技術革新と協力</li><li>● その他</li></ul>	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"><li>● 以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢</li></ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● なし</li><li>● 1%未満</li><li>● 1-25</li><li>● 26-50</li><li>● 51-75</li><li>● 76-100</li><li>● 不明</li></ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● なし</li><li>● 1%未満</li><li>● 1-25</li><li>● 26-50</li><li>● 51-75</li><li>● 76-100</li><li>● 不明</li></ul>	文章入力欄[最大 2,500文字]	文章入力欄[最大2,500文字]	文章入力欄[最大500文字]

## マイナーチェンジ

### 根拠

- 企業は、サプライチェーンにおける汚染除去に積極的に取り組んでいることを示すべきである

### エンゲージメントの詳細(2列目)

<b>新人研修とコンプライアンス</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● サプライヤーの選抜メカニズムにウォータースチュワードシップとリスク管理を組み込んでいる</li><li>● 水関連目標の要件が、サプライヤーの選定メカニズムとして含まれている</li><li>● ウォータースチュワードシップおよび管理に関する自社行動規範を順守することが排出物の処理に関する最低基準を設定し、それを満たすことが要件</li><li>● その他、具体的にお答えください</li></ul>	<b>技術革新と協力</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 水への影響を削減するような製品とサービスの技術革新を奨励/報奨</li><li>● サプライヤーが当該河川流域の他の利用者と協力して取り組むよう奨励/報奨</li></ul>
<b>水管理の改善とスチュワードシップへの動機付け</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 貴社のサプライヤーの関係管理において、水関連の定量的目標に対する明白な進展がインセンティブ化されている</li><li>● 水管理およびスチュワードシップ行動をサプライヤー評価に組み込んでいる</li><li>● 水管理およびスチュワードシップをサプライヤー褒賞プログラムに組み込んでいる</li><li>● サプライヤーに経済的インセンティブを提供し、水に対する操業上の影響を供給製品を通じて削減するよう奨励</li><li>● サプライヤーに経済的インセンティブを提供し、自らの操業およびサプライチェーン全体を通じて水管理およびスチュワードシップを改善するよう奨励</li><li>● その他、具体的にお答えください</li></ul>	<b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● その他、具体的にお答えください</li></ul>

新規で追加された選択肢です。  
最低限の排水基準を設定し、満たすことの要件

### 説明

- 2列目の「研修とコンプライアンス」内の選択肢を新規で追加。「排水処理のための最低基準を設定し、満たすための要件」の欄に新しい選択肢が追加されました。

この質問は、企業がW1.4の回答で「はい、当社のサプライヤー」を選択した場合にのみ表示されます。列で「研修とコンプライアンス」を選択した場合にのみ、新しいドロップダウンが2列目に表示されます。



# W2.1a & W4.2 -影響（インパクト）とリスクへの主な対応



(W2.1a) 貴社が被った水に関連する悪影響、それへの貴社の対応、総合的な財務上の影響について具体的にお答えください。

## マイナーチェンジ

### 根拠

企業がリスクへの第一の対応策として環境に配慮した再生農業を採用しています。ことを示すことができます。これはRace to Zeroキャンペーンに貢献する行動です

### 説明

W2.1a、W4.2の7列目、15列目に「一次対応」の選択肢を追加しました。「再生農業（リジェネラティブ農業）ポリシーの採用」

国/地域	河川流域	影響要因の種類	主な影響要因	主な影響
選択肢: ● 国/地域ドロップダウンリスト	選択肢: ● 河川流域ドロップダウンリスト ● 不明 ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● 物理的要因 ● 規制 ● 評判および市場 ● 技術	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢

影響の詳細	主な対応	財務上の影響総額	対応の詳細
文章入力欄[最大1,500文字]	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999,999の数字を入力]	文章入力欄[最大1,500文字]

主な対応(7番目の列)

<ul style="list-style-type: none"><li>● 水の効率化、水の再利用、リサイクル、および保全活動を採用</li><li>● 再生農業方針を採用</li><li>● 事業継続計画を修正</li><li>● 現地規制要件への準拠</li><li>● 干ばつ緊急対策を作成</li><li>● 洪水緊急対策を作成</li><li>● 新しい製品および/または市場を開発</li><li>● 顧客との協働</li><li>● 地域社会との協働</li><li>● NGO/特別利益団体との協働</li><li>● 規制当局/政策立案者との協働</li><li>● サプライヤーとの協働</li><li>● 操業地特有の定量的目標を設定</li><li>● 適正評価の強化</li><li>● 社内水ブラッシングを実施</li><li>● 自然をベースにした解決策を実施</li><li>● 活動に影響を及ぼす公共政策とウォーターセキュリティ誓約の整合性の改善</li><li>● インフラ維持管理の改善</li><li>● モニタリングを改善</li><li>● 汚染対策および抑制対策を向上</li><li>● 資本支出を増加</li><li>● 施設の地理的多様性を増加</li><li>● 保険補償範囲を拡大</li></ul>	<p>新しい選択肢 環境再生型農業（リジェネラティブ農業）ポリシーの採用</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 化学肥料や殺虫剤の使用量を削減する代替作物管理戦略を採用(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● 代替家畜管理活動を採用(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● サプライヤー間での化学肥料や殺虫剤の使用量を削減する代替作物管理戦略の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● サプライヤー間での代替家畜管理活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● サプライヤー間での動物用製品の使用を削減するために、代替家畜管理活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● サプライヤー間でのより良い動物廃棄物管理活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● サプライヤー間での効率的な化学肥料および殺虫剤管理の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● サプライヤー間での土壌保全活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● サプライヤー間での持続可能な灌漑活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● サプライヤー間での耐乾性作物品種の使用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● バリューチェーン全体を通じて食品廃棄物を削減(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● 耐乾性作物品種を使用(食品・飲料・タバコセクターのみ)</li><li>● その他、具体的にお答えください</li></ul>
--	--	---

この質問は、企業がW2.1で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

# リスクの識別と評価の手順

## W3.3b

貴社水関連のリスク評価では、次のどのような文脈上の問題が考慮されていますか

- マネジメントレベルの基準A)とリーダーシップレベルの基準A)について、明確性を高めるために若干の表現変更を行いました。

### マネジメントレベル

2020	2021
i) 当該問題が <u>会社の事業に関連する</u> 理由の説明、および	i) 当該課題が <u>評価に含まれる</u> 理由の説明、および
ii) どの <u>ツール</u> が評価に使用されたか	ii) 評価に使用された <u>ツール/方法</u>

### リーダーシップレベル

i) 評価についての説明	i) <u>水関連のリスクについて問題がどのように評価されたかの説明</u>
--------------	--

# クロステーマ・アライメント 水関連のリスクと対応

2021年には、これらの欄のいずれかで「不明」を選択しても、この得点の対象にはなりません。



## W4.2/W4.2a

(W4.2) 貴社の直接事業（バリューチェーン）において、財務上または戦略上、貴社の事業に実質的な影響を与える可能性のある特定されたリスクの詳細と、それらのリスクに対する貴社の対応策を提供してください。

期間
選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● 現在から1年以内</li><li>● 1～3年</li><li>● 4～6年</li><li>● 6年超</li><li>● 不明</li></ul>

潜在的影響の程度	可能性
選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● 高い</li><li>● やや高い</li><li>● 中程度</li><li>● 中程度～低い</li><li>● 低い</li><li>● 不明</li></ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● ほぼ確実</li><li>● 可能性が非常に高い</li><li>● 可能性が高い</li><li>● 5割を超える確率で</li><li>● 可能性がおおよそ5割</li><li>● 可能性が低い</li><li>● 可能性が非常に低い</li><li>● 可能性が並外れて低い</li><li>● 不明</li></ul>

「認識」の基準を「気候変動とフォレスト」に合わせてマイナーチェンジ

### 認識採点基準

記入した行の数に応じて、配点を各行に均等に配分し、認識ポイントが次のように付与されます:

- [国/地域]欄が記入されていて、且つ、[河川流域]で、[不明]を除く選択肢が記入されている - 1ポイント
- [リスクの種類]と[主なリスク要因]欄が記入されている - 1ポイント
- [主な潜在的影響]と[自社固有の内容]欄が記入されている - 1ポイント
- [期間]、[潜在的影響の程度]、および[可能性]欄で、[不明]を除くいずれかの選択肢が記入されている - 1ポイント
- [主な対応]と[対応の詳細]の欄が記入されている - 2ポイント



# 取締役会レベルの監督

## W6.2b

水関連の問題において取締役会レベルの監督の詳細を記載してください。

回答選択肢

以下の表を記入してください:

水関連問題が予定された議題として取り上げられる頻度	水関連問題が組み込まれているガバナンスのメカニズム	説明してください
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 予定されている - すべての会議</li> <li>• 予定されている - 一部の会議</li> <li>• 不定期の議題 - 重要な事案が生じたとき</li> <li>• その他、具体的に教えてください</li> </ul>	<p>該当するものをすべて選択:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 実施と業績のモニタリング</li> <li>• 買収と売却の監督</li> <li>• 大規模な資本支出の監督</li> <li>• 従業員インセンティブの提供</li> <li>• 年間予算の審議と指導</li> <li>• 事業計画の審議と指導</li> <li>• 主要な行動計画の審議と指導</li> <li>• リスク管理方針の審議と指導</li> <li>• 戦略の審議と指導</li> <li>• 企業責任戦略の審査と指導</li> <li>• 技術革新/研究開発の優先度の審査</li> <li>• 業績目標の設定</li> <li>• その他、具体的に教えてください</li> </ul>	<p>文章入力欄[最大3,000文字]</p>

マネジメント基準の  
プログラム別調整

### マネジメント採点基準

マネジメントポイントを取得する資格として、認識ポイント満点が付与されている必要があります。

A) 以下に関して、マネジメントポイントが付与されます。

[予定された議題 - すべての会議で] または [予定された議題 - 一部の会議で] を選択 - 1ポイント

2021年基準

B) [説明してください]欄で。

1) 選択したガバナンス構造が、水問題に関する取締役会の監督にどう寄与するかを説明 - 1ポイント

2020年の基準を削除

# マネジメントレベルの責任

## W6.3

水関連の問題に責任を持つ最高経営レベルの役職または委員会を記入してください（個人名は記入しない）。

職位または委員会
選択肢:
● 現在、管理職レベルの水関連問題責任者はいません
● 最高経営責任者(CEO)
● 最高財務責任者(CFO)
● 最高執行責任者(COO)
● 最高調達責任者(CPO)
● 最高リスク管理責任者(CRO)
● 最高サステナビリティ責任者(CSO)
● その他の経営幹部役員、詳述してください
● 社長
● リスク委員会
● サステナビリティ委員会
● 安全・衛生・環境・品質委員会
● 企業責任委員会
● その他の委員会、詳述してください
● 事業部長
● エネルギー部長
● 環境・安全衛生部長
● 環境/サステナビリティ部長
● 施設長
● 加工部長
● 調達部長
● 広報部長
● リスク管理部長
● その他、具体的にお答えください

リーダーシップ基準のプログラム横断的な整合性

リーダーシップポイントの対象となる  
選択項目の追加

# 軽微な変更と明確化 事業戦略

## W7.1

水関連の問題は、長期的な戦略的事業計画のどの側面にも組み込まれていますか、組み込まれている場合はどのようにしていますか？

### 戦略的事業計画の側面

長期的な事業目的

長期目的達成のための戦略

財務計画

ii) 計画にどのように組み込まれているかの例



ii) 戦略的事業計画の各側面にそれらがどのように統合されているかの例

水に関する問題

➤ 明確さを増すために、マネジメントレベルの基準ii)の表現を若干変更

# 軽微な変更と明確化 CAPEX/OPEX

## W7.2

報告年度における組織の水関連の資本支出（CAPEX）と営業支出（OPEX）の傾向と、次の報告年度の予想される傾向についてご記載ください

### リーダーシップ採点基準

リーダーシップポイントを獲得するには、**マネジメントポイントが満点付与**されている必要があります。

「説明してください」欄で以下の内容を記入することに対して、リーダーシップポイントが1ポイント付与されます：

i) どのような水関連の支出(設備投資(CAPEX)および/または操業費(OPEX))に対するものかの説明。

➤ リーダーシップレベルで  
の資格基準の変更

### リーダーシップの基準が変わる

- ▼ これは、2020年に新たに採点された質問です。
- ▼ これまでのリーダーシップレベルの資格基準では、"認識レベルで満点"が要求されていました。
- ▼ 企業の成長に合わせて、2021年に「マネジメントポイントが満点」にアップグレードされます。

# シナリオ分析

## W7.3

貴社では、気候関連のシナリオ分析をビジネス戦略に活用していますか。

### 回答選択肢

以下の表を記入してください:

#### 気候関連シナリオ分析の利用

選択肢:

- はい
- いいえ、しかし今後2年以内に実施予定です
- 今後2年間に実施予定はありません

▼ 認識レベルでの配点の変更

▼ マネジメントレベルでの追加変更

セクション	Aポイント	Mポイント
"Yes"	1/1	1/1
"No, but we expected to do so..."	0.5/1	0/1
"No plans..."	0/1	0/1

▼ 事業戦略のためにシナリオ分析を行う企業へのインセンティブを付与する

# W8.1a - 企業の水関連目標

(W8.1a) 企業レベルでモニタリングし、進捗が見られる水の定量的目標について具体的に説明してください。



## マイナーチェンジ

目標参照番号	定量的目標のカテゴリー	レベル	一番の動機	定量的目標の詳細	定量指標
選択肢: ● 参照番号ドロップダウン	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン 選択肢	選択肢: ● 全社的 ● 事業 ● 事業活動 ● 操業地/施設 ● ブランド/製品 ● 国レベル ● 河川流域レベル ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン 選択肢	文章記入欄[最大1,000文字]	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン 選択肢
基準年	開始年	目標年	目標達成度 (%)	説明してください	
数値記入欄[小数点を用いずに、1900-2100の数字を入力]	数値記入欄[小数点を用いずに、1900-2020の数字を入力]	数値記入欄[小数点を用いずに、2019-2100の数字を入力]	パーセンテージ記入欄[最小小数点第2位を用いて、0 ~100の割合を入力]	文章記入欄[最大1,000文字]	

**根拠**

企業は、全社的な目標を設定することで、公害防止に積極的に取り組んでいることを示すべきである。

**説明**

6 列目の「製品の使用段階」に新しいドロップダウン・オプションを追加しました。"水質汚濁製品に関連した総収入の減少率"。

- このカテゴリーに関連した投資の増加割合(%)
- 生産単位あたりの削減割合(%)
- その他、具体的にお答えください

- 水の排水
- 事業単位あたりの削減割合(%)
  - 収益あたりの削減割合(%)
  - 製品あたりの削減割合(%)
  - このカテゴリーに関連した投資の絶対的な増加
  - このカテゴリーに関連した投資の増加割合(%)
  - 生産単位あたりの削減割合(%)
  - リサイクル/再利用を通じて得られた水使用量の増加割合(%)
  - その他、具体的にお答えください

### 新しい選択肢： 水質汚濁製品に伴う総収入の減少率

- 使用段階の資源効率を考慮して設計された製品からの収益の増加割合(%)
- 水質汚濁に関連した製品の総収入の減少割合(%)
- その他、具体的にお答えください

- コミュニティ・エンゲージメント
- コミュニティエンゲージメント活動に参加している人口の総数
  - コミュニティエンゲージメント活動に参加している人口の増加割合(%)
  - コミュニティエンゲージメントイニシアチブへの投資の増加割合(%)
  - コミュニティエンゲージメントイニシアチブへの投資の絶対的な増加

この設問は、W8.1 の 2 列目の回答で「企業レベルで目標をモニタリングしている」を選択した場合にのみ表示されます。

2 列目で「製品の使用段階」を選択した場合のみ、6 列目に新たなドロップダウンが表示されます。

# 汚染物質の管理手順

## W-CH/EU/FB/OG3.1



貴社は、化学部門の活動に関連して、水の生態系や人間の健康に有害な影響を与える可能性のある潜在的な水質汚染物質をどのように特定し、分類していますか？

### マネジメント採点基準

以下の内容を記入することに対して、マネジメントポイントが付与されます：

- i) 水域および生態系に悪影響を及ぼす恐れがある潜在的水質汚染物質の特定・分類を目的として、貴社で実施している方針やプロセスの詳細 - 1ポイント
- ii) 企業が従う規定の基準の詳細 - 1ポイント
- iii) 貴社のバリューチェーン全体にわたって方針と手続きが異なるか否か、異なるとすればどのように異なるかについての情報

➤ マネジメントレベルでの基準ii)の明確化

2020年の基準	2021年基準
ii) 会社が確立された基準に従っているかどうかについての詳細	ii) 会社が採用している確立された基準の詳細



# W-MM3.2a - 鉱滓ダムの評価



(W-MM3.2a) 貴社の管理下にある鉱滓ダムを人間の健康や生態系に対して起こった不祥事例に準じて評価し、分類していますか。

変更点

鉱滓ダム決壊の結果の評価	評価/分類ガイドライン	鉱滓ダムは「危険」または「非常に危険」に分類されました	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>はい、鉱滓ダム決壊の影響を評価しています</li><li>いいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していませんが、今後2年以内に行う予定です</li><li>いいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していません、また今後2年以内に行う予定もありません</li></ul>	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"><li>オーストラリア大規模ダムに関する全国委員会 (ANCOLD)</li><li>カナダダム協会(CDA)</li><li>条例70.389/17 - ブラジル鉱業省</li><li>ガーナ鉱物委員会(LI 2182)</li><li>南アフリカ SANS 10286</li><li>自社固有 (Company-specific) のガイドライン</li><li>その他、具体的にお答えください</li></ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>はい、鉱滓ダムは「危険」または「非常に危険」に分類されました</li><li>どの鉱滓ダムも「危険」または「非常に危険」(または同等の分類)に分類されていません</li><li>不明</li></ul>	文章入力欄[最大1,500文字]

説明

列の表示。

第1列で「いいえ」を選択した企業は、第3列が表示されなくなります。

この質問は、W-MM3.2に活動中または活動中の鉱滓ダムがあると企業が報告している場合にのみ表示されます。



# 金属・鉱業会社の管理手順



## W-MM3.2a

貴社管理下にある鉱滓ダムは、その決壊が人間の健康や生態系に及ぼす影響に応じて評価・分類されていますか。

2021年のボックス表示の変更に伴い、評価基準を修正

鉱滓ダム決壊の結果の評価	評価/分類ガイドライン	鉱滓ダムは「危険」または「非常に危険」に分類されました	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>はい、鉱滓ダム決壊の影響を評価しています</li><li>いいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していませんが、今後2年以内に行う予定です</li><li>いいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していません、また今後2年以内に行う予定もありません</li></ul>	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"><li>オーストラリア大規模ダムに関する全国委員会 (ANCOLD)</li><li>カナダダム協会(CDA)</li><li>条例70.389/17 - ブラジル鉱業省</li><li>ガーナ鉱物委員会(LI 2182)</li><li>南アフリカ SANS 10286</li><li>自社固有 (Company-specific) のガイドライン</li><li>その他、具体的にお答えください</li></ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>はい、鉱滓ダムは「危険」または「非常に危険」に分類されました</li><li>どの鉱滓ダムも「危険」または「非常に危険」(または同等の分類)に分類されていません</li><li>不明</li></ul>	文章入力欄[最大1,500文字]

No. "を選択した場合、"Please explain "欄のみ表示されます。

▼ 2021年にむけボックス表示を改訂。  
ボックス3「鉱滓ダムが危険または高危険に分類されている」は、  
ボックス1「鉱滓ダムの決壊の結果の評価」で「いいえ」の選択肢が選択されている場合は表示されません

# 金属・鉱業会社の管理手順

## W-MM3.2a

### 認識採点基準

認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

次の場合に認識ポイントが付与されます:

A) [鉱滓ダム決壊の結果の評価]欄で[はい、鉱滓ダム決壊の影響を評価しています]が選択されている場合:

i) [鉱滓ダム「危険」または「非常に危険」に分類されました]欄で[不明]以外のいずれかの選択肢を選択している - 2ポイント

B) [鉱滓ダム決壊の結果の評価]欄で[いいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していませんが、今後2年以内に行う予定です]が選択されている場合 - 0.5ポイント

### 認識レベルの基準が変わる

#### ▼ 追加採点ルートB)

▼ 将来的に鉱滓ダム決壊による影響を評価する意図を示した場合、部分的に加算

# その他の変更点

▼ 以下の設問のテキストボックスの文字数制限を増やしました。

W-FB1.2e	水不足の地域からの商品の生産・調達
W-FB1.2f	
W-FB1.2g	
W-CH1.3a	生産された化学物質による水原単位
W-EU1.3	発電活動による水の原単位
W-EU1.3a	
W-FB1.3	生産および供給される商品（コモディティ）別の水の原単位
W-FB1.3a	
W-FB1.3b	
W1.4a	生産および供給される商品（コモディティ）別の水の原単位
W1.4b	

# ガイダンスにおけるその他の注意事項の変更



- ▼ W1.2d（ストレス地域からの取水）と  
W7.3（シナリオ分析）

追加情報として、WWFウォーターリスクフィルターの詳細をアップデート




- ▼ W1.2d（ストレス地域からの取水）。  
設問で求められている内容を明確にし、水ストレスを受けた地域からの取水率を計算する際には、あらゆる種類の水源を考慮に入れるべきであると明記
- ▼ W-FB1.3、W-FB1.3a、W-FB1.3b（水の原単位）。  
一般的な産業界の値ではなく、計算された水の原単位の数値が必要であることを明確にするため、要求内容を更新

# 2021年の水セキュリティのスコアリング資料



- ▼スコアリング手法（全セクター、簡易バージョン）
  - CDPウェブサイト入手可能
- ▼スコアリングガイダンス資料 - CDPウェブサイト公開中
- ▼カテゴリーとウェイトイング - CDPウェブサイト入手可能
- ▼スコアリング基準で2020年からの変更点に関する資料
  - CDPのウェブサイト入手可能





ご清聴  
ありがとうございました。